1. 林野率と林業従事者
2. 保有山林規模別林家構成

1. 林野率と林業従事者

わが国の1970年の林野面積は2530万ha（沖縄県を除く）で、国土の約67%をしめる。林野面積から草生地（野草地）の面積を除いた森林面積は2450万haである。森林面積から竹林、伐採跡地、未立木地の面積を除いた樹林地面積は2340万haである。これを林種別にみると、人工林33%、天然林67%、林相別にみると針葉樹林45%、広葉樹林55%である。また林野の所有形態別では、国有31%、公有11%、私有58%である。

温帯多雨地域を中心とする広い地域に国土が広がっているので、全国的にみると森林の樹種は豊富であり、また樹木の成長も早い。最近になって森林のはたす水資源涵養、大気浄化、レクリエーションの場の提供などの公益的機能が、いっそう重要視されるようになっている。

林業労働は、ほとんど農家世帯員の兼業労働に依存し、また断続的で短期間の就業形態をとることが多いため、その実態把握は困難である。

自分のうちの林業や、よそに雇われて林業に従事したもののうち、農家世帯員で林業の従事日数が1年間で150日以上の者は155万人、農家世帯員以外の林家世帯員で林業の従事日数が1年間で1日以上の者は4万人である。また1年間に1日以上林業の作業に従事した農家世帯員は194万人で、その88%は自営林業に従事している。そのうち男子は70%、女子は30%である。

林業従事者数の推移を正確にとらえた統計資料はないが、1960年に林業への総労働投入量の約4分の1をしめていた木炭生産部門の急激な縮小や林業用機械の導入などにより、林業従事者数は相当減少していると考えられる。

〔凡例と作図の要点〕

林野率：1970年8月1日現在の総土地面積にたいする林野面積の割合である。林野とは森林と森林以外の草生地（野草地）をいう。森林面積は航空写真などによる実測値で、草生地（野草地）面積は地元関係機関や精通者から聞取った値である。

林業従事者：調査日（1970年2月1日）以前1年間に、自分のうちの林業や、よそに雇われて林業の作業に従事した者のうち、農家世帯員の場合は従事日数150日以上の者、農家世帯員以外の場合は保有山林1ha以上の世帯の世帯員で従事日数1日以上の者を林業従事者として表示した。なおこの場合、市町村別の林業従事者数はドット数に換算し、5万分の1地形図、20万分の1地勢図、農業集落地図（1970年世界農林業センサス）を参照しながら、適宜の位置に表示した。

〔資料〕

1．農林省，1970年世界農林業センサス

2. 保有山林規模別林家構成

わが国の1970年の林家は257万戸（沖縄県を除く）で、林家の保有山林面積は670万haである。林家の1戸あたり平均保有面積は2.6haであるが、山林保有がごく少数の大規模林家に集中し、大多数の林家は零細な保有者である。保有山林1ha未満の林家は142万で林家総数の55.4%をしめる。しかしこの階層の林家の保有する山林面積は54万haで全体の8.1%にすぎない。

1960～1970年の間に、林家は全体で14万戸減少しているが、5ha以上の階層の林家は増加している。

山林の保有者は林家以外にも、会社・社寺・市町村などの林業事業体がある。

〔凡例と作図の要点〕

保有山林：林業事業体が経営している山林のことである。すなわち、所有山林のうち貸付けている山林および分収契約されている山林を除いた残りに、借入れている山林、他人の土地へ分収契約している山林、および部落の山林や共有林などから割地してもらっている山林で割替えされる山林を加えたものをいう。

山林面積は森林面積から未立木地の面積を除いたものに相当するが、すべてが実測値というわけでなく、実際よりかなり小さい値となっている。

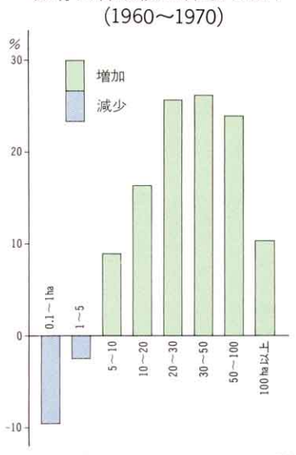
なお林業事業体は、保有山林面積が10a以上の世帯、法人、法人以外の団体などをいう。

林家：世帯である林業事業体をいう。この事業は、世帯員のうちの何人かに所有名義が分かれていても、世帯にまとめて10a以上あれば林家とした。ただし、この図では、保有山林1ha未満の林家は構成比の対象にしていない。

〔資料〕

1．農林省，1970年世界農林業センサス

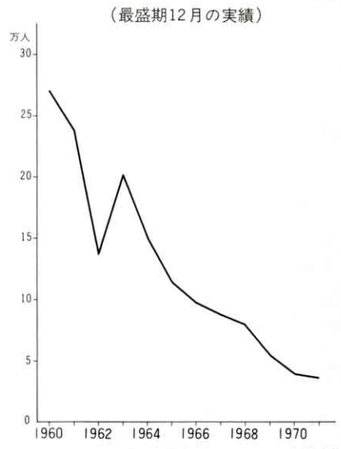
保有山林規模別林家増減率（1960～1970）



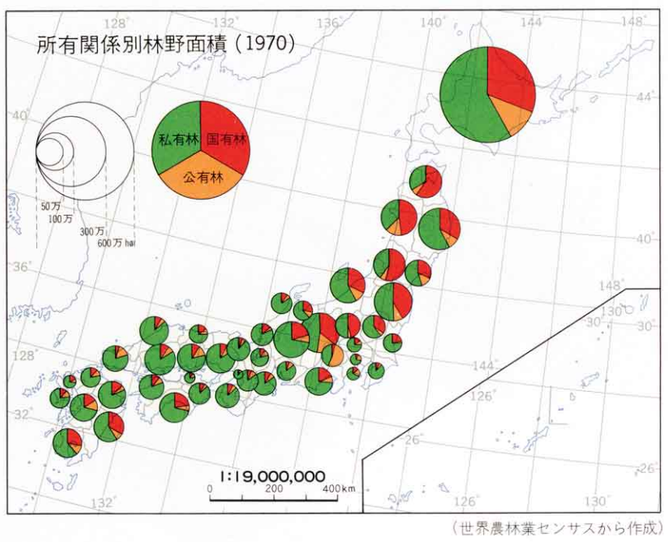
（世界農林業センサスから作成）

製炭従事者数の推移

（最盛期12月の実績）

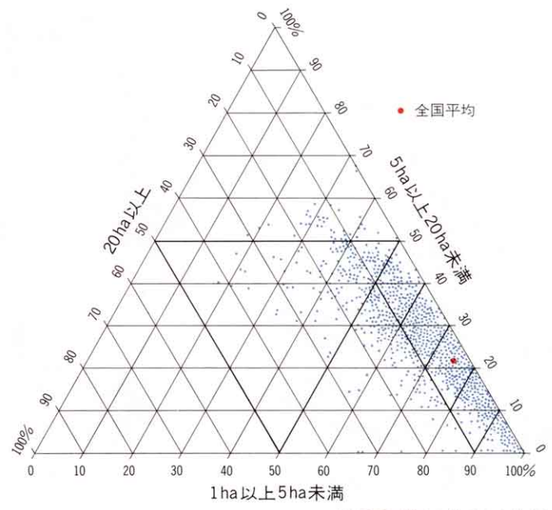


（世界農林業センサスから作成）

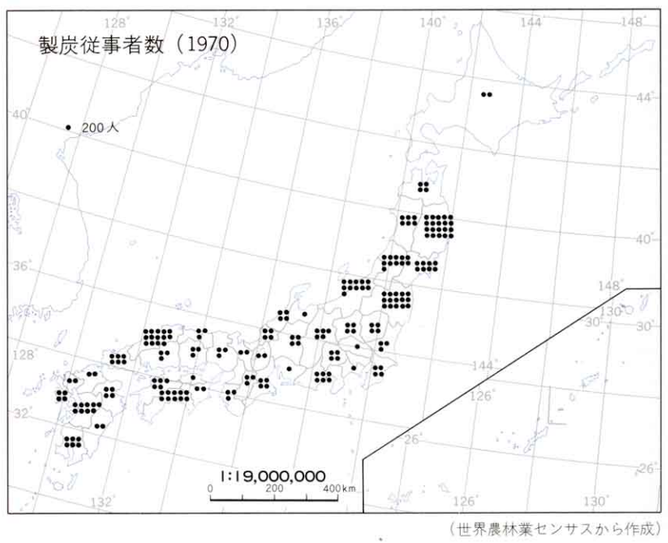


（世界農林業センサスから作成）

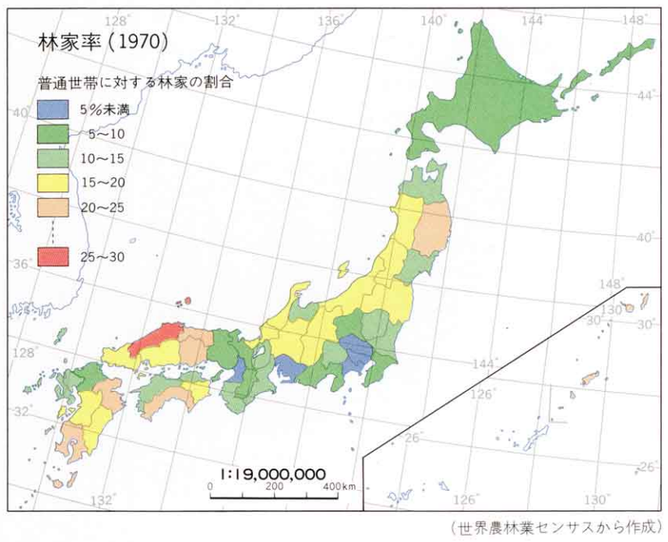
市町村別保有山林規模別林家構成（1970）



（世界農林業センサスから作成）

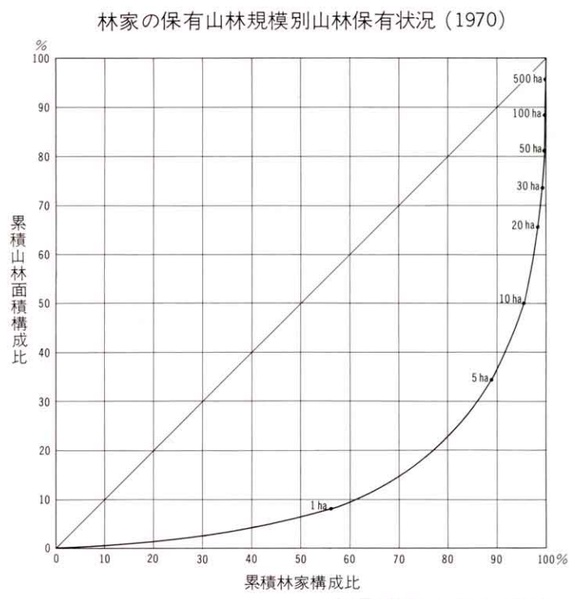


（世界農林業センサスから作成）

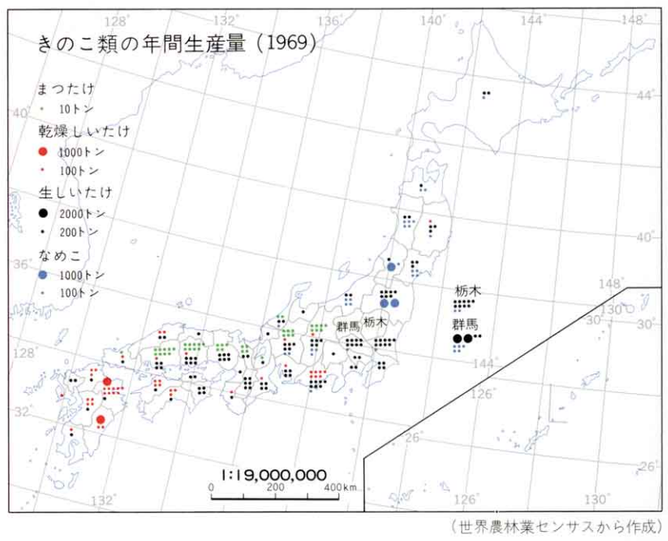


（世界農林業センサスから作成）

林家の保有山林規模別山林保有状況（1970）

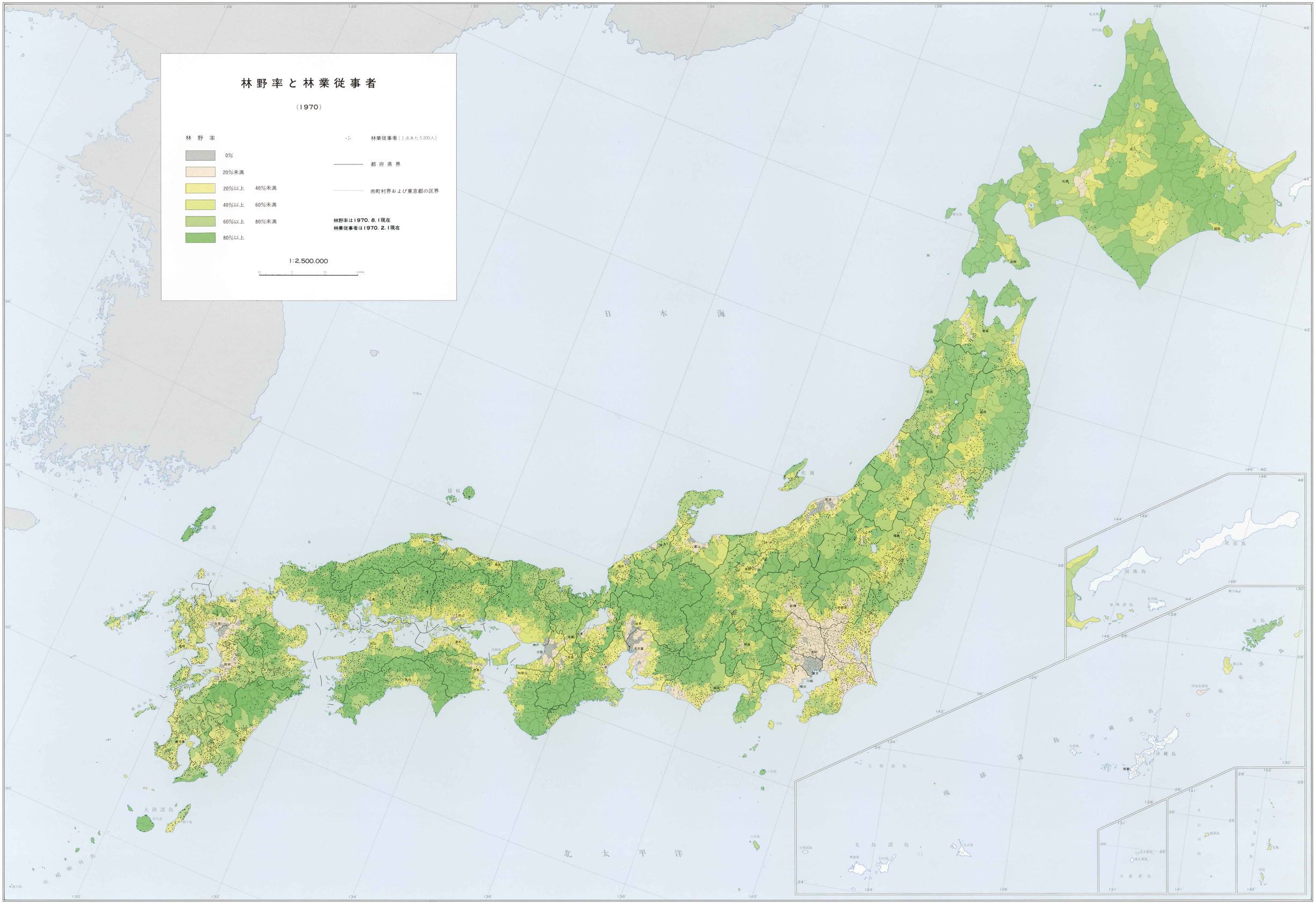
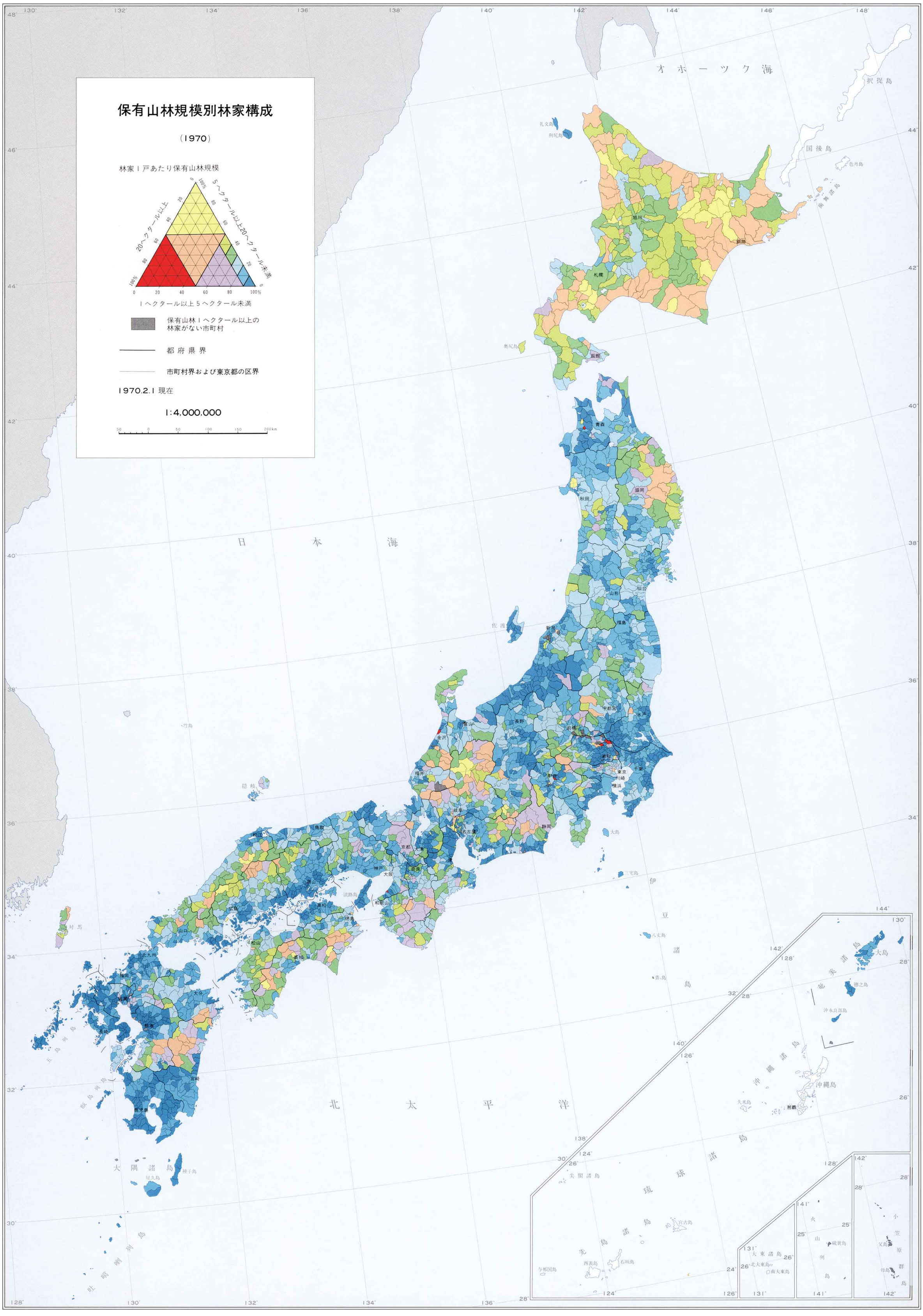


（世界農林業センサスから作成）



（世界農林業センサスから作成）

38.1


林野率と林業従事者
（1970）
林野率
0%
20%未満
20%以上 40%未満
40%以上 60%未満
60%以上 80%未満
80%以上
林業従事者（1点あたり200人）
都府県界
市町村界および東京都の区界
林野率は1970. 8. 1現在
林業従事者は1970. 2. 1現在
1:2,500,000
日本海
北太平洋
琉球諸島
沖縄諸島
先島諸島
大東諸島
小笠原諸島
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
大島諸島
奄美諸島
大隅諸島
対馬
佐渡
隠岐
礼文島
利尻島
奥尻島
佐渡島
粟島
竹島
沖縄島
宮古島
石垣島
与那国島
西表島
硫黄島
南大東島
北大東島
父島
母島
南鳥島
沖ノ鳥島
札幌
函館
旭川
釧路
帯広
青森
秋田
盛岡
仙台
新潟
富山
金沢
福井
長野
宇都宮
前橋
水戸
千葉
東京
横浜
甲府
静岡
名古屋
岐阜
津
大阪
神戸
奈良
和歌山
京都
大津
鳥取
松江
岡山
広島
山口
徳島
高松
高知
福岡
佐賀
長崎
熊本
大分
宮崎
鹿児島
那覇

保有山林規模別林家構成